

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和元年5月20日発行

No.130



(寺下 撮影者:平野かほり)

その昔は、わらじに脚絆姿が主だったこの道も、今は世界各地からのお客様が歩いています。長い道のりを、この山中まで進めてくださった、その旅程に思いを馳せると、感謝の気持ちで心がいっぱいになります。

花を植え、飾る。小さなおもてなしが、言葉にならない「ありがとう」の気持ちを伝えています。

小笠原 美雪

蘭上段 清 水 醇

以前より関心があった「妻籠冬期大学講座」に参加できたことは、この上なく楽しいことだ。今回、私に広報「妻籠宿」の原稿依頼があった理由は直接聞いていないが、南木曽町の文化財審議委員の末席に加えていただいているせいだと勝手に解釈している。35年もの長きにわたり、南木曽町を離れていたために、南木曽町の歴史に疎い私であるが、南木曽町公民館活動や社会教育活動を経験させてもらい、短時間で町の歴史や文化財などに接する機会を得たことが、今、町の将来に目を向ける自分を育てていただいたと感謝している。

そんなわけで、また（以前この大学講座を拝聴している）妻籠の歴史を知る良い機会が訪れたと軽い気持ちで出かけたが、結果は予想をはるかに超える内容であった。

まずは、多くの高齢者（失礼）の参加する大学講座に、若き大学生が興味を抱いて妻籠を見聞し、その若き感性で妻籠の情景を語ってくれた。彼女たちの視線が若者たちのすべてではなかろうが、初老の身には新鮮に映った。圧巻は母でありながら研究者を目指す大学院生が成し遂げた博士論文の内容である。

発表した論文（博士課程）は、恩師のサポートもあっただろうが、わずか3年で成し遂げたといわれる。妻籠宿50年の歩みを概観し、妻籠宿の住民が喧々諤々論議を重ね、根気強く・粘り強く成し遂げてきた宿場保存のプロセスを、あたかも私たちが携わったかのような臨場感を持って語っていただいた。この講座をお聞きになった方々はきっと彼女から多くの示唆を与えられ、次なる50年に向けて次世代に伝えるエネルギーをもらったことだろう。

蘭新道 湯通堂満寿男

今年の妻籠冬期大学で、石山千代さんが、昭和46年に制定された我が国初の住民憲章（「妻籠宿を守る住民憲章」）について講演された。「売らない・貸さない・こわさない」3原則や、宿場だけでなく周辺景観も規制対象にする画期的な憲章が作られた経緯や、それを維持する仕組みなどについて詳細に調査した素晴らしい発表であった。

私は、その住民憲章が制定された年に妻籠宿を訪れたことがある。町並みの簡素な美しさに感動したことが思い出される。その40数年後、この地に移住し、再訪しても、その印象は変わることがない。妻籠宿を守る人たちの努力に頭が下がる。

しかし、最近、様々な問題が出てきているようだ。最も危惧されるのがリニア新幹線である。妻籠地域では、男瀧・女瀧や妻籠水源の直下をトンネルで通過する。各地のトンネル工事では高頻度で地下水脈に異常が起こっているが、妻籠の地下水脈が破壊されると、瀧が涸れるだけでなく、植生などの変化も予想される。馬籠から妻籠に至る中山道沿いの沢から水が消え、木々を渡る涼やかな風が消える。水田風景も心配だ。観光客に人気の道は趣が大きく損なわれてしまうだろう。

また、町民の約1/3に水を供給している妻籠水源が涸れても大問題になる。他に代え難い美味しい水が湧き出ており、県の条例で水道水源保全地区に指定されている。それにも拘らず、知事はJR東海に条件付であるが掘削の許可を与えた。影響を受けた時、責任は取れるのだろうか。住民憲章を作った人々の半世紀以上続く強い想いを汲んでもらいたかったと考えるのは私一人ではないだろう。



〈名古屋外国語大学学生の発表〉



〈石山千代氏〉

一石栃子安観音の祭礼に参加して

副理事長 藤原 和 年

妻籠宿の桜が散るころ、一石栃子安観音のお祭りが開催される。4月3日が倉科様霊祭と雄滝雌滝の滝不動祭、4月15日の子安観音祭と、下り谷という小さな集落は二つの行事を守っている。戸数が減少し、続けるのが大変だと思うが頑張っているのは、小林前理事長の強い思いも感じる。伝統行事を大事に守っていくことが、妻籠の集落保存にとってとても重要で、妻籠全体で盛り上げる伝統は今年も健在である。地区の方と、財団の職員はじめ20人ほどが駆けつけた。雄滝雌滝のお不動さんが縁結びの神様、子安観音は子どもが授かる神様と言われている。願いが叶ったと訪れる人も多い、こんなお礼参りなら大歓迎である。

当日は、快晴で暖かくウォーキング日和、相変わらずびっくりするほど沢山の外国人が行きかう。宿場内とは全く違う景色である。何が、何故こんなに違うのか、体感してほしい。みんなウォーキングを楽しんでいる。幼いころの私にとって大妻籠から母の実家である馬籠への道は辛い道であった。久しぶりに実家へ帰る母の足取りは軽い、母の背中には弟がおんぶされ、両手は荷物で塞がっている。私は自力で歩かなくてははいけない。母にせかされながら、車道もバスもない。あれから60年余りが過ぎ5月からは年号が令和となった。60年後も一石栃に皆が集い、人が行きかうことを願う。

〈追加〉 一石栃の農地再生、環境整備ボランティアを募集中!



〈観音堂前も番所跡も今年は開花が遅かった…〉



〈直会の前に一仕事〉



直会の前に毎年恒例の記念撮影。
今年は立場茶屋の前の桜も蕾はかたく、桜花と一緒とはなりませんでした。

風景街道中山道研修会 赤坂宿 2018年3月11日(月)

木曽風景街道推進協議会会長 湯川 喜義

木曽風景街道推進協議会の中山道研修会が、3月11日(月)に26名の参加で赤坂宿にて行なわれました。

まず赤坂宿について紹介しますと、ここは江戸から57番目の宿で、岐阜県大垣市にあり、JRの駅では東海道本線支線の美濃赤坂駅の近くにあります。

赤坂宿は、谷汲山華嚴寺(西国三十三所の満願の寺)へ通ずる谷汲街道、伊勢へ通ずる養老街道との交差点でもあり、また明治年間には赤坂湊からの大理石や石灰の船運で大いににぎわった地区でした。現在も石灰の産地であり、背後の山は採掘で欠けており、遠くからもその山容がはっきり見て取れます。この山の中腹には三大虚空蔵の一つ「金生山明星輪寺」があり、虚空蔵菩薩が祀られています。

また、宿の近くには前方後円の「昼飯(ひるい)大塚古墳」があり、この名前のいわれは、本田善光が難波の海で拾いあげた三尊物(善光寺如来)を信濃へ運ぶ途中、ここで昼食をとったことから来ているとのことで、歴史的・文化的に豊富なところです。

さて、我々が見学した場所は、赤坂宿・明星輪寺・昼飯大塚古墳の3ヶ所ですが、ここでは赤坂宿についての報告をします。宿は県道216号沿いに約1kmあり、すべての家並が古いというわけではありませんが、残されている町屋や商家は昔ながらの前面すべてに千本格子がはめられた家で、市の“歴史文化遺産”に指定されており、遺産を守り維持するという姿勢を強く感じました。大垣市は“景観遺産”を指定していて、“歴史文化遺産”はこの一つで、この点は見習うべきと思いました。

また、“赤坂宿町づくりの会”が設立されていて、地区の町づくりを推進していて“ボランティアガイドセンター”があり、今回はここの方に案内をしていただきました。やはり、“他を知り自を見つめ直す”ことは大変有意義であることを実感させられました。

研修の旅の締めくくりは中津川での交流会で、参加者居住地を中心とした情報交換などが盛んに行われ、大いににぎわいました。



〈案内スタート〉



〈お茶屋敷跡〉



〈矢橋家住宅〉



〈大垣市景観遺産標〉

日本遺産木曽路ストーリーテラー育成セミナーに参加して

妻籠宿案内人の会会長 野田 覚

平成28年木曽路が日本遺産に認定され、木曽地域文化遺産活性化協議会により、1年目は「遺産の資料作り」、2年目は「遺産の詳細とPRへの意見交換」、最後の3年目は、「木曽を全て案内が出来る人を育成する」事を目指して、開かれた。木曽の案内人の会の代表等の16名が集まり、1～3月にかけて3回の研修が行われた。

1回目は木祖村村民センターで、日本遺産の木曽路が語れるストーリーテラーの重要性の説明があり、その後各ガイド団体の取り組み状況の紹介をして、意見交換を行った。

2回目は大桑村須原地区館で、松本在住の数少ない通訳プロ観光ガイドとして活躍されている中野憲一氏により、「インバウンド観光の動向を踏まえたガイディング技術の向上について」の講演があった。通訳ガイドとしての、仕事や心構え等についての話が主体であったが、お客様が持ち帰れるのは記憶、案内人は旅の思い出作りの手助けのための役目であり、印象に残る説明のストーリー作りが大事であることが強調された。

終わりの3回目は、学んだ講習を生かした案内の実践を3箇所で行った。敷原宿では、木曽漆器をお客に薦める店主とのやり取り、木曽福島の代官屋敷と関所では代官と我々が通行人となり威厳のある対応のやり取り、人気上昇中の阿寺溪谷は大桑村の案内人の説明を聞きながら、綺麗に整備され説明看板が設置されており、久方振りに訪れたが、コバルトブルーの清流には感動。

最後は阿寺荘で、今回の講習を通しての感想や意見を述べ合い、英語が話せず高齢化した案内人が多いが、出来る事を一步一步進めようと誓った。

国はインバウンドを、来年は4,000万人 2030年度には6,000万人を迎える施策を展開中で、人気の木曽路妻籠宿にはますます多くの外国人が訪れるので、宿泊施設関連の拡充が求められると強く感じた。



**** 妻籠宿の案内人を募集しています！ ****
話好きな方、歴史に興味ある方
連絡を待っています！

【今年もふれあい館にお雛様を飾りました！】



【現在 五月人形展示中!】

6月5日までふれあい館に飾られています。
甲冑と打掛は自由に着ることが出来ます。
記念撮影も楽しいですよ!

〈妻籠観光協会〉

平成31年度(公財)妻籠を愛する会事業計画

1、妻籠宿保存のための調査・研究・指導・援助に関する事業

- (1) 現状変更行為申請受付事務及び指導・援助
- (2) 月例統制委員会の開催と申請事項の審議
- (3) 統制委員会の研修
- (4) 当年度建築物保存修理修景計画への参画
- (5) 空き家に関する調査・研究・道標等の製作、講習会の実施
- (6) 防災施設の点検・修理計画の推進
- (7) 防災訓練の実施(文化財防火デーほか)
- (8) 全国町並みゼミ(川越大会)等研修会への各役職員の参加・参画

2、建造物の保存及び景観を守るために必要な維持管理・環境保全事業

- (1) 「立場茶屋」(一石栃牧野家)建物の維持管理・活用・通年開放及び周辺耕作地管理
- (2) 「白木改番所」の史跡公園整備
- (3) 中山道沿線の景観整備・松枯れ対応
- (4) 「尾又屋」「まつや」「旧田原家」「木犀庵」「旧田口家」の維持管理・活用
- (5) 板葺き石置き屋根の保存技能の継承
- (6) 空き家所有者の維持管理委託及び改修の推進

3、文化財の公開に必要な諸施設の設置と、その維持管理に関する事業

- (1) 「ふれあい館」の管理運営
- (2) 「四阿」(妻籠城址・白木改番所)の維持管理
- (3) 休息施設(ベンチ等)の維持補充
- (4) ホームページ等による保存事業の情報発信
- (5) 道標・説明板の見直しと更新
- (6) 民俗資料の収集・公開・活用

4、文化の向上を図るための調査・普及に関する事業

- (1) 広報「妻籠宿」及び事務局便りの発行配布
- (2) 第52回「文化文政風俗絵巻之行列」の実施
- (3) 第44回「妻籠冬期大学講座」の主催と勉強会の支援
- (4) 妻籠宿案内人の会への支援・育成
- (5) 古い時代の衣装の保存・収集・活用・着付け教室の実施
- (6) 妻籠及び木曾に相応した文化の伝承と開発・研究

5、文化財と一体をなす自然環境の保護に関する事業

- (1) 保有山林地の維持管理(スナジ・西山・尾又)
- (2) 休耕地の景観整備
- (3) 重伝建地域の桜・ミツバツツジ等の花木の保護・植栽・育成と景観整備
- (4) 妻籠城址の環境整備
- (5) 外来動植物の駆除

6、重要伝統的建造物群保存地区内において公開に必要とする事業の受託および支援事業

- (1) 町営駐車場管理事業
- (2) 旧妻籠小学校の管理

7、関係機関・連携団体との集落保存、自然景観の保護、地域づくりに関する事業

- (1) 木曽風景街道推進協議会・木曽ユネスコ協会との協働活動
- (2) 木曽街道連絡会の事業の推進
- (3) 関係団体との交流(国内外)
- (4) 国土交通省エクスカーション活動参加

8、前号までに掲げるもののほか、前号までの目的を達成するために必要な事業

- (1) 中央駐車場の経営及び環境整備
- (2) 取得資産の有効活用

777 トリプル7 エンジェルナンバー

理事長 藤原 義 則

馬籠峠頂上直前、つづら折りの手前に標高777m地点があります。この地点に熊除けの鐘と標高表示をしました

777は恋愛・前兆・奇跡・祝福「あなたの願いは必ず叶います」の意味があります。一石栃子安観音と立場茶屋そしてラッキーポイントです。

幸運が訪れるよう、子安観音にお参りして、立場茶屋での休憩そして、トリプル7の鐘を鳴らして願掛けてから峠を踏破して下さい。幸運が訪れますように!



妻籠冬期大学講座で講演された石山千代氏の研究論文『町並み保全地域における自主規範を軸とした空間的・社会的調整システムの構築に関する研究 ―「妻籠宿を守る住民憲章」に着目して―』が財団事務所で閲覧可能です。

興味のある方はどうぞ!

宿 場 暦

- 2月 2日：第43回妻籠冬期大学講座(60名参加)
 4日：観協宿泊部会
 6日：連絡調整会議、観協食堂部会
 8日：氷雪の灯まつり準備(氷つくり・木曽町2名)、観協土産部会
 9日：第12回氷雪の灯まつり(木曽町へ5名)
 12日：木曽観光地づくり戦略PJ会議(木曽町)
 15日：日本遺産木曽路ストーリーテラー育成セミナー(大桑村・理事長、案内人会長)
 20日：統制委員会、元気づくりヒアリング(合庁・理事長)、広報「妻籠宿」129号発行、環境整備作業(追肥・環境保全委員会)
 24日：平成30年度第4回観光地点パラメータ調査
 25日：日本ナショナルトラスト常任理事会(東京・理事長)
 27日：観協おひな様飾りつけ
 28日：インバウンド推進協議会(長野市・理事長)
 3月 1日：日本ナショナルトラスト理事会(東京・理事長)
 5日：馬籠峠777m地点に熊鐘の位置を置換
 6日：観協三役会
 8日：観協役員会
 11日：木曽風景街道推進協議会中山道研修(大垣市赤坂宿・5名参加)
 13日：妻籠観光協会総会
 14日：日本遺産木曽路ストーリーテラー育成セミナー(阿寺他・案内人会長)、インバウンド推進協議会(長野市・理事長)
 19日：理事会
 20日：統制委員会、妻籠地域振興協議会役員会(理事長)
 21日：長野朝日放送撮影
 26日：広報部会
 27日：評議員会、信越放送撮影
 4月 1日：駐車場臨時職員辞令交付、三役会
 3日：倉科様祭礼(三役)
 10日：テレビ東京撮影
 12日：妻籠宿案内人の会役員会・学習会
 13日：名城大学デイハイク
 15日：子安観音祭礼(20名参加)
 18日：旧田原家打ち合わせ(町、愛会三役)
 22日：統制委員会、木曽風景街道推進協議会役員会(木曽町・理事長)
 23日：会計監査、広報部会、妻籠地区地域振興協議会(理事長)、空家対策総合支援事業説明会(三役)

26日：木曽地域文化遺産活性化協議会活性化委員会(理事長)

統制委員会審議事項

- 2月20日
 ・家屋解体工事(町:下町桜井家) 1件
 ・入浴施設新築及び中庭整備(大妻籠) 1件(保留)
 ・中央駐車場管理棟新築・解体(愛会) 1件
 ・板葺屋根張替修理工事(教委:下嵯峨屋) 1件
 ・電灯引込線新設(中電:恋野) 1件
 3月20日
 ・玄関前通路修理(下町) 1件
 ・バス停の設置(濃飛バス:第1P) 1件
 ・屋根・庇の修理(愛会:尾又) 1件
 ・群状択伐(関電:妻籠地区) 5件
 ・筍伐採(関電:妻籠地区) 1件
 ・防火水槽標識設置(町:恋野) 1件
 ・久保洞水路橋説明看板設置(町教委) 1件
 ・その他:前月保留分再審議 1件
 4月22日
 ・発電所建屋カメラ等設置(関電:尾又) 1件
 ・店舗改装(寺下) 1件
 ・住居改築工事(寺下) 1件
 ・屋根修繕(大妻籠) 1件
 ・NTT電柱改築工事(アルスター:寺下・尾又) 1件
 ・配電設備の保安伐採(中電:大妻籠・尾又) 1件
 ・電灯引込線新設(中電:橋場) 1件
 ・支柱新設工事(中電:橋場) 1件
 ・その他:2件(掲示板設置場所変更、着物レンタル)



〈2019.2.9 氷雪の灯まつり〉

発行:公益財団法人妻籠を愛する会
 〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

妻籠分館文化祭

平成31年3月2日(土)

広報部 木村和恵

公民館妻籠分館主催の文化祭が、3月2日(土)に分館ホールにて開催されました。春の暖かな陽気の中、大勢の観客が集まり盛り上がりしました。

前半は保育園児や小学生の子どもたちによるダンス。一生懸命に踊る姿におじいちゃん、おばあちゃんは目を細め、親たちは心配そうに見つめ、会場は大きな手拍子で応援していました。最初の休憩後、毎年トリをつとめる恋野一座の寸劇が披露されました。子どもを持つお母さんたちは毎年前半終了後に家に帰ってしまい寸劇が見られないので、見たいという声があり今年は早めの登場となったそうです。

その後もダンスに詩吟など日頃の練習の成果が十分に発揮されました。トリは下町区の皆さんによるコントでした。練習時間がわずかしか取れず不安ということでしたが、一生懸命さがこちらに伝わり面白かったです。特に高齢の古畑和一さんが台詞を覚えていて、しっかり演技している姿に感動しました。

最後はお楽しみ抽選会で幕を閉じました。来年も多くの演目が披露される事を期待します。



平成31度 妻籠分館行事日程表

年	月 日	曜日	行 事 内 容	場 所
31年	4月14日	日	役員総会、30年度反省慰労会	妻籠分館会議室他
元年	7月	日	分館清掃(祭り準備日に合わせて)	妻籠分館内外
	7月23日	火	和智塾大祭子ども神輿・夜警	妻籠地区内
	7月24日	水	和智塾大祭夜警	
	8月18日	日	育成部行事:納涼祭(流しそうめん、花火等)	旧妻籠小学校校庭他
	9月第二	日	敬老会お手伝い	南木曽会館
	9月29日	日	旧妻籠小学校校庭整備	旧妻籠小学校校庭
	10月12日	土	区民運動会準備	旧妻籠小学校校庭
	10月13日	日	区民運動会(予備日:なし、雨天:体育館)	旧妻籠小学校校庭
	11月10日	日	木曽郡公民館大会	木曽町福島
2年	12月15日	日	しめ縄講習会	妻籠分館ホール
	2月 2日	日	南木曽町公民館大会	南木曽会館
	2月23日	日	分館交流スポーツ大会	社会体育館
	3月 6日	金	文化祭の準備	妻籠分館ホール
	3月 7日	土	文化祭	妻籠分館ホール
	4月12日	日	2年度役員総会、31年度反省会	妻籠分館日本間

* そば打ち講習会 月2回

* ソフトバレーボール 週2回

* 二胡教室 月2回

☆ 軽音楽研究会

☆ 環境整備

通年

適時

※ 各団体への参加希望につきましては、分館主事までお気軽にお問い合わせください。

【分館長:鈴木竜行、主事:三浦順明】